

坂浜地区

令和7年11月15日（坂浜コミュニティ防災センター）

| No. | 質問内容 | 回答 |
|-----|--|--|
| 1 | <p>【稲城市の救急通報システム(Live119)】 東京消防庁への業務委託をしていないため、Live119が利用不可との認識で正しいか。今後の委託予定の有無、および稲城市独自の映像通報システム導入を検討しているか教えてほしい。</p> | <p>本市では、現在Live119映像通報システムの導入はなく、利用できない状況であるが、更新を予定している消防緊急通信指令設備の更新整備に併せてLive119映像通報システムの導入を検討している。 東京消防庁への事務委託については、本市が常備消防業務を維持する理由として、消防・防災対策に関する施策の意思決定が速く、迅速に実現できること。地域の防災関係団体と緊密な連携による消防防災行政が推進できること。市職員である消防職員は、市外への移動がなく、管内の地理水利等の管内情勢に精通した職員を常に配置できること。消防本部に防災課を配置することにより、年365日、三交代制で24時間体制による緊急時の連絡体制を確保し、迅速な災害対応が図られ、消防業務と防災業務の一元化が図られるなどの利点があり、単独消防のメリットが際立っていることから、現在の体制としている。 また、消防関係有識者や地域住民の代表者で構成された稲城市消防委員会においても、本市の常備消防は市単独消防とする体制を維持すべきという意見を踏まえ、現在、令和8年度からの今後10年間の消防体制を計画する「第四次稲城市消防基本計画」の策定を進めている。</p> |
| 2 | <p>【防災備蓄について】 今年1月に公表された内閣府の全国市町村毎の防災備蓄データの稲城市の備蓄食料が他市町村に比べて非常に少ないことへの不安を感じた。防災備蓄の見直しや強化を検討しているのであれば、教えてほしい。</p> | <p>大規模災害時の被災者想定人数は1日あたり約10,000人。過去の災害を見ると3日間は広域の支援が入らない可能性があるため3日分の備蓄を確保している。 なお、公表されているデータのアルファ米数は、「1,269」となっているが、これは箱数を表しており、1箱50食分となるため、実際には「63,450」食を備蓄している。単位に誤りがあり、不安を与え申し訳ない。 事情を補足説明すると、調査については、東京都を経由して内閣府に報告している。 当初、東京都からは箱数で回答するように指示があり、その後食数に変更するよう依頼があり、食数で回答したが、東京都の担当者が当市の欄を変更し忘れたため、箱数のまま公表されてしまった。 公表後、直ちに東京都に修正依頼したが、東京都のミスであるが内閣府のデータは東京都では修正することができないとの回答を受け、内閣府にも直接修正依頼したが、発表済みのものを訂正出来ないとの回答を受けている。 稲城市としては、想定される避難者の3日分の備蓄を計画的に整備し、今後、備蓄状況を市ウェブサイトで公表する予定である。</p> |
| 3 | <p>老人会館(坂浜ふれあいセンター)へのAED設置を要望する。</p> | <p>AEDは使用期限もあり、金銭面はもちろん適切な管理が必要となる。市では適切な管理を実施するため、市の公共施設に設置しているものは消防本部で一元管理をしている。 公共施設へのAED設置計画はすでに完了しており、民間施設への補助を要望する意見もあるが、その予定はない。ご了承いただきたい。</p> |

| No. | 質問内容 | 回答 |
|-----|--|---|
| 4 | 調布飛行場発着の伊豆諸島便のルート変更。 川崎方面だった飛行ルートが稲城(坂浜上空)を通るルートに変更された経緯を教えてください。騒音に関して問題視はしていない。 | 本件は、東京都港湾局が管轄となる。東京都港湾局より以下回答。 伊豆諸島に行く定期便を運行している新中空会社は、パイロットによる有視界飛行として地上の目標物を確認しながら飛行しており、以前は、地上の目標物として登戸駅とよみうりランドを目標物としていた。しかし令和4年ごろ、よみうりランド周辺の方からの騒音苦情があったため、ルート変更を検討し、ルートを西側にずらしながら試行していき、令和5年頃、駒沢女子大学を目標物としたルートである現在の形にルートが落ち着き、現在も2ルートに分散しながら伊豆諸島便を運行しているとのこと。 |
| 5 | 以前活用されていた尾根幹線道路の駐車スペースを確保してほしい。 | 東京都から、道路工事の進捗に伴い、令和8年度以降は駐車スペースとしての利用は困難と伺っている。 なお、稲城中央公園付近では、遠方から大型バスで来られる選手・団体も多いものの、大型バスの駐車場が無いことが課題である。稲城中央公園付近に普通車の駐車場拡張は難しいが、大型バスを数台駐車できるスペースを作ることを検討するよう、所管部署へ指示している。 |
| 6 | キューソーの駐車場東側通学路の舗装が割れていて危険なので、対応をお願いしたい。 | 本通学路については、市道ではなく、民地であることから、舗装については土地所有者に実施いただくものとなる。 本来は赤道の整備が必要な場所である。 |
| 7 | 第二小学校の増設工事の奥側(農道)より、小田良地区の子供達の通学路として整備の検討をお願いしたい。 | ご提案の通行区域については、民地を一部通行することとなるため、指定通学路として整備することは困難である。 また、当該区域の市道部分については、アスファルト舗装ではないため雨天時にはぬかるみが発生すること、車が通行する際に児童の待機場所が確保できないこと、西側が斜面になっており危険であること等から、通学路として利用するためには、整備に多額の費用を要し、難しいと考える。 |
| 8 | 市で10月頃に通学路の合同点検を毎年行っているが、ウェブサイトでの公表が翌年5月なのは遅いように感じる。 区画整理がされ、人の住んでいるエリアが変わり、通学路の安全が心配である。 | 第二小学校エリアでは、小田良通りの安全性が毎年課題にあがっており、市でも大きな課題として認識しているが、すぐには手を付けられない場所である。 根本解決は、現在止まってしまっている多摩3・4・36を鶴川街道に繋ぐことであるが、大規模な工事となる。このエリアで区画整理を行う話がでており、周辺の道路整備はこの区画整理に併せて行っていく必要がある。 |

| No. | 質問内容 | 回答 |
|-----|--|---|
| 9 | 向陽台・公園通りの駐車スペースは、昔駐車することができたが、駐車できなくなった。駐車可能とすることで街の活性化にもつながると考える。 | 向陽台・公園通りは、従来から駐車禁止エリアである。近隣住民から警察への通報もあり、現在は駐車禁止強化区域となっている。 ニュータウンはURが施工した街で、用途が厳格に定められている。このエリアは商業用地でなく、兼用住宅地域であるため、大型店や駐車場を作ることが難しい。将来的には地域住民の合意を取りながら色々な店舗が併設される街にしていきたいという思いはある。 |
| 10 | 猛暑で夏に公園利用ができない。現在の第二小学校の学童クラブの受け入れ人数に不安を感じる。 | 現状第二小学校の学童クラブの受け入れ人数に問題はないと考えるが、不足が生じた際には適宜対応を検討していく。 なお稲城市は、放課後子ども教室を全小学校で行っており、定員は設けていない。学童クラブとの差の指摘はあるが、おやつを提供や実施時間を伸ばす等の対応をしている。 |